

vol.32

学習院大学国際交流センター  
Centre for International Exchange  
Gakushuin University



## 短期プログラムに参加しよう!

学習院大学には、さまざまなかたちで国際交流を体験できるプログラムがあります。1年間の協定校への留学プログラムをはじめ、春・夏の長期休業期間に、協定校からの留学生が参加する日本語研修の実施、そして協定校における語学研修への本学学生の派遣といった多様なプログラムを用意しています。

今回は、本年度実施された夏季日本語研修プログラム、そしてオーストラリア(平成24年度実施)、韓国及びスペインでの語学研修についてレポートします。

### ■平成25(2013)年度夏季日本語研修プログラム

8月19日(月)から27日(火)までの9日間、夏季日本語研修プログラムを実施しました。

この研修は、学習院大学の協定校(アジア)の学生を対象にした、日本語及び日本文化を学ぶプログラムです。日本語の基礎的な授業を受けるだけでなく、ボランティアとして参加した本学学生を交えた国際交流や、地域の文化施設での日本文化体験、東京及び近郊地へのフィールドトリップといった幅広い活動を通じ、日本文化を直に感じることができる内容になっています。

昨年スタートしたばかりの新規プログラムで、今年は日本学生支援機構(JASSO)留学生交流支援制度による奨学金の選定を受けました。

#### 【プログラム参加校】

この夏、研修に参加したのは、タイ・チュラロンコン大学、中国・北京外国語大学、台湾・東呉大学、そして韓国・啓明大学校、慶北大学校、東国大学校の本学協定校6校からの学生14名。母国で日本語を学び、日本文化のさまざまな分野に関心を持った学生たちです。

#### 【プログラムの様子】

8月20日から始まった日本語授業は、教室が狭く感じられるほど熱気に満ちていました。ただ講義を聴くだけでなく、「日本語で自己紹介をやってみよう!」「日本語でインタビューをしてみよう!」と、日本人や他の国から来た学生たちと一緒に、ピアリーディングやインタビュー等の実践を通じて日本語コミュニケーションを学びました。また、5日目の文化体験では、目白庭園で振袖(男子は紋付袴)の着付け、茶道及び書道の実技を体験。日本様式の庭園を背景に、日本の伝統文化についての説明を熱心に聞き入りました。

6日目には、班ごとに都内のランドマーク、川越、鎌倉といった近郊地へフィールドトリップ。翌日の最終日には各班が見学先についてのプレゼンテーションを行いました。大きな模造紙いっぱい描かれた色とりどりの発表内容は、参加者たちの驚きや日本人は見逃してしまうような事柄についての素朴な疑問等に満ちていて、発表を聞く学生たちを惹きつけていました。

### 参加した留学生たちの声



「短期間でしたが、日本文化について多く学び、また日本語能力を上達できたと思います。なぜなら毎日、日本人の友達と会話できてはいなかったから!」  
チュラロンコン大学(タイ)  
パーボン クライシテイクル



「学習院大学の日本語プログラムに参加して、本当に楽しかった。将来、機会があればまた日本にきたい!!」  
北京外国語大学(中国)  
過棟(カトウ)



「授業を通じて「日本語で考える」能力が上達したと思います。着物の着付けについても勉強できたので、台湾では、茶道部のみんなに伝えます。」  
東呉大学(台湾)  
廖泓俐(リョウ コウリ)



「いつも本で学んでいた日本文化を直接感じられました。」  
啓明大学校(韓国)  
申恩泳(シン ウンヨン)



「学習院大学の学生と先生との思い出は絶対忘れられません。いろんな国から来た友達の文化までわかるようになりました。」  
慶北大学校(韓国)  
金多慧(キム タヘ)



「慣用語、オノマトペ、など、韓国ではあまり勉強できなかった部分まで学べた授業がよかったです。」  
東国大学校(韓国)  
申ナラ(シン ナラ)

### 日本人ボランティアの声

このプログラムには、学習院大学の学生もボランティアとして17名参加しました。



「相手がわからないときには別の簡単な言葉に言い換えてみたり、ジェスチャーを使ったり工夫しました。言語は違っても意思の疎通ができたので嬉しかったです。」  
経営学科3年 田中 理恵子

「留学生と一緒に受けた授業では、ただサポートするだけでなく、一緒に考えたり意見を出し合ったりする内容だったので、自分自身も考える機会ができました。文化体験では、日本の伝統的な着物などに感激する留学生をみて、日本文化って素敵なんだと実感しました。」  
法学科3年 近藤 さち



プログラムは9日間という短い期間でしたが、参加した留学生・日本人学生のどちらにとっても、忘れられない思い出となったようです。このプログラムを通じて、参加者が学習院大学及び日本文化への理解をより深め、本校と協定校との間の国際協力が今後も発展していくことが期待されます。



▲文化体験で着付けに挑戦



▲修了式での集合写真

## 短期(派遣)語学研修プログラムの実施

国際交流センターでは、本学学生を対象とした、協定校での短期語学研修も行っていきます。今年度は、初めてスペイン語研修も実施しました。

### ■平成24(2012)年度春季オーストラリア語学研修

#### 【実施内容】

渡航期間:2月23日～3月16日

研修先:ニューサウスウェールズ大学

(UNSW) Institute of Languages

滞在方法:ホームステイ(各人別々の家庭にホームステイ、1人部屋)

研修内容:少人数制クラスで、とりわけ口頭でのコミュニケーションスキルに焦点を当てた英語レッスンの受講。また、同大学で開講されている正規課程の授業の聴講や、現地学生との交流、及び豪桜会を通じた現地在住の本学OB / OGとの会合に参加。

※平成25(2013)年度春季語学研修の募集については、10月に掲示・G-Port・当センターホームページ等で募集要項を公示します。

#### 参加学生からの言葉

経済学科3年 水野 兼一

「研修の前までは、世界の様々な所を訪れてみたい、英語を話せたらいいな、と考えていました。しかし今回、実際に日本の外に出て、本気で勉強している自分と同年代の学生や、英語を使って世界をフィールドに活躍している人たちに出会うことができ、自分ももっと外の世界を知って、自分の幅を広げたい、と思うようになりました。また、英語力をあげるには英語を使わなければならない場所に身を置き、長い時間英語に触れることが大切なのだと感じました。ですので、まず日本に帰ったら、できるだけ英語に触れる時間と英語の知識を増やし、近い将来には長期留学に挑戦したいです。」

(平成24年度春季オーストラリア語学研修報告書より)

### ■平成25(2013)年度夏季韓国語学研修(ソウル・東国大学校)

#### 【実施内容】

渡航期間:8月12日～23日

研修先:東国大学校

滞在方法:大学内の学生寮

研修内容:初級から上級のクラス分けによる韓国語の授業、日本語によるテーマ別講義や特別授業、文化体験プログラム、現地の学生パティとの交流等

#### 参加学生からの言葉

教育学科1年 小黒 美穂

「私は、この研修に参加してルームメイトや韓国語のクラスの方々、先生、パティ、班の方たち、他大学の皆さん、学習院の先輩方など多くの人々と交流することができました。」

2週間の生活の中には多くの出来事がつまっており、書ききれない思い出がたくさんありますが、このたくさんの経験を忘れずに、これからは2週間の生活で気づいた、母が普段何気なくしてくれることに感謝し、もっと視野を広げて勉強に精を出していきたいと改めて思うことができました。また、外国に興味をもつことができたので、留学などは実現するかわかりませんが、いろいろな国に自分の足で行ってみたいと強く思いました。本当に有意義な2週間で、この研修に参加して心からよかったと感じています。」

(平成25年度夏季韓国語研修報告書より)



### ■平成25(2013)年度夏季スペイン語研修(アルカラ・アルカラ大学シスネロス校)

#### 【実施内容】

渡航期間:8月16日～9月9日

研修先:アルカラ大学 シスネロス校

滞在方法:ホームステイ

研修内容:1日4時間の集中授業(うち2時間は文法中心、残りの2時間は会話中心のレッスン)。アルカラ～セゴビア～バルセロナ～トレドの見学等。



(政治学科4年 能美香織さん提供)

※平成26(2014)年度夏季語学研修の募集については、来年度春に掲示・G-Port・当センターホームページ等で募集要項を公示する予定です。

## 学習院大学で学ぶ外国人留学生の声

本学では、イギリス、フランス、イタリア、ロシア、オーストラリア、インドネシア、ベトナム、タイ、中国、韓国、台湾といったさまざまな国や地域からの外国人留学生が学んでいます。そんな外国人留学生の代表として、3名の協定留学生について紹介したいと思います。



#### 北京外国語大学(中国) 曹 夢岩(ソウムガン)

(平成25年4月から1年間、本学法学科に在籍)

中国屈指の外国語教育機関である北京外国語大学からきた夢岩さん。母校の恩師から、学習院大学での勉学を薦められ留学を決めたそうです。

学習院大学での学生生活で最も印象的なのは、授業の面白さ。「今まであまり触れたことのない分野について先生方からわかりやすく教えていただき、本当に嬉しいです。」という夢岩さん。留学前には日本語を中心に勉強してきましたが、本学で学ぶ中で、「法律や心理学、法律に関する知識も身につけたい」と、意欲的に考えるようになったといいます。

生活面では、「緑が多く、雰囲気がすばらしい」と一目で気に入った学習院大学キャンパスで、日本人の友人や趣味の合う仲間と出会い、多忙ながらも充実した日々を送っている夢岩さん。学生生活で得た交友関係は、夢岩さんにとってかけがえのないものだということです。

留学を考えている学生に対し、夢岩さんは、語学の勉強に加えて、留学先の国の文化、とりわけ人との関わり方や、建物の雰囲気、衣食等、その国の隅々まで「観察し、理解する」ことが大切なのでは、と語ります。



#### チュラロンコン大学(タイ) ウィモンサラウォン・アパポーン

(平成25年4月から1年間、本学日本語日文学科に在籍)

タイ最古の国立大学、チュラロンコン大学からの留学生アパポーンさんは、母国にいるときから、日本語及び日本の歴史文化を熱心に勉強してきたそうです。日本人にタイ語を教えるアルバイトや、日本人観光客向けのガイドのお手伝いなどを通じ、授業以外の場でも日本語を話せるようになるうと励んでいた努力家のアパポーンさんにとって、学習院大学への留学は大きな一歩でした。アパポーンさんが留学生生活で達成したい目標は次の3つ。日本語の能力を向上させること、日本文化を学ぶこと、そして日本人との交流を深めることだそうです。

学習院大学の授業では、先生が学生を気にかけて、わからないところを丁寧に教えてくれること、周囲の学生が真剣に授業を受けていることに刺激を受けているそうです。

また、休み時間には国際交流センターで、日本人の学生、他の国の留学生と交流します。センターには「タイはどうか」と積極的に聞いてくれる学生たちがいること、日本語でわからないことがあるときには誰かが説明してくれることが楽しみだとか。「私は違った意見を聞くことが大好きで、様々な意見を通じ、自分の国と他の国がどんな国なのかをさらに理解できます。」とアパポーンさん。



#### オックスフォード・ブルックス大学(イギリス) TAKASAKI-GOUT Timothy James Hiro タカサキ・グー ティモシー ジェームズ ヒロ

(平成24年9月から1年間、本学日本語日文学科に在籍)

今年度8月に協定留学を終えたティモシーさんから、次のメッセージをいただきました。

"I really enjoyed my exchange year at Gakushuin! The Center for International Exchange, students and teachers were always friendly and helped me when I needed it.

The classes were fun and I learnt a lot from working with other Japanese students, making lots of new friends. I recommend Gakushuin to anyone who wants a Japanese university experience."

## 平成25(2013)年度第2期の協定留学プログラムによる派遣学生

(留学期間:平成25(2013)年10月～翌年9月)

派遣先大学	派遣学生
復旦大学(中国)	経営学科2年 石井 梓
北京外国語大学(中国)	史学科3年 則松 和
慶北大学校(韓国)	英語英米文化学科2年 近藤 茜
東国大学校(韓国)	政治学科2年 林 由夏
東呉大学(台湾)	人文科学研究科日本語日文学専攻 博士前期課程2年 渡辺 陽子
ノースカロライナ州立大学シャーロット校(アメリカ)	英語英米文化学科3年 馬淵 春那
ノースカロライナ州立大学シャーロット校(アメリカ)	英語英米文化学科3年 柳田 麻央
エディンバラ大学(イギリス)	英語英米文化学科3年 横田 頌子
オックスフォード・ブルックス大学(イギリス)	経営学科2年 池田 奈津
オックスフォード・ブルックス大学(イギリス)	英語英米文化学科3年 森 由紀
アイスランド大学(アイスランド)	法学科3年 河野 稜
アイスランド大学(アイスランド)	政治学科3年 藤本 貴二郎
パイロイト大学(ドイツ)	ドイツ語圏文化学科3年 羽山 知里
マンハイム大学(ドイツ)	ドイツ語圏文化学科3年 山内 美樹
マンハイム大学(ドイツ)	ドイツ語圏文化学科3年 和田 望佑
リヨン第二大学(フランス)	人文科学研究科フランス文学専攻 博士前期課程2年 鳥巢 まゆ子
リヨン第二大学(フランス)	フランス語圏文化学科3年 富岡 葵
国立ナポリ東洋大学(イタリア)	政治学科3年 荒木 瑠梨子
ポーネ大学(イタリア)	心理学科2年 伊藤 里礼葉
アルカラ大学シスネロス校(スペイン)	政治学科3年 林 希美

### 平成25(2013)年度第2期派遣留学生からのメッセージ

(9月よりリヨン第二大学に留学)

私はフランス文学作品を原書で読む力をつけたいと、大学でフランス語を学びはじめました。しっかりと語学力を身につけ、また日本から外に出ることで、より相対的な視点を得たいと思い、留学することを決めました。海外で一年間、一人で暮らすことで精神的にも鍛えられるのではないかと、留学生活を楽しみにしています。

この留学を迎えるまでには、たくさんの人のサポートがありました。国際交流センター、留学経験者、フランスからの留学生や、先生には、留学が決まる前から相談にのってもらい、また留学準備の際に生じた多くの疑問に答えてもらいました。国際交流センターでは「留学フェア」などを通じて留学経験者や、協定校からの留学生と知り合いになることができます。サポートを受けながら具体的に、留学を思い描いてみてはいかがでしょうか。  
※原稿は平成25年8月に作成 (文学部フランス語圏文化学科3年 富岡 葵)



## 平成26 (2014) 年度協定留学プログラム (第2期) 派遣学生募集中!

現在、2014年度第2期協定留学プログラム (留学期間: 2014年10月～翌年9月/派遣先: 中国、韓国、アメリカ、ヨーロッパ等) の出願を受け付けています。募集要項は掲示・G-Port・当センターホームページなどで公示しています。

なお当センターにて、本プログラムにより派遣した先輩方の留学体験記を閲覧できますので、応募にあたってはそちらも参考にしてみてください。

## 海外留学のための奨学金について

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、少しでも多くの学生に留学を経験してもらうことを目的として、「学習院大学海外留学奨学金・奨励金」という制度を設けています。

### ●学習院大学海外留学奨学金

応募条件: 「留学願」が承認されている者、又は承認されることが見込まれる者

奨学金額: 1名につき50万円以内 (給付)

募集人数: 年20名程度 (平成25年度採用実績36名)

募集時期: 年2回 (12・6月)

### ●学習院大学海外留学奨励金

給付条件: 「海外留学奨学金」受給者のうち、特に優秀な者

奨励金額: 1名につき10万円以内 (給付)

採用人数: 年10名程度 (平成25年度採用実績 12名)

平成26年度に留学を開始する方を対象とした第1回目の募集 (上記「募集時期」12月の回) については、募集要項を10月に掲示・G-Port・当センターホームページなどで公示する予定です (平成25年度の募集は終了しました)。

来年5月頃には、第2回目 (上記「募集時期」6月の回) の募集を開始する予定です。

なお、本奨学金を利用し留学をされた先輩方の留学体験記 (協定留学・協定外留学) が、当センターにて閲覧できます。

この他の奨学金等については、以下のようなものがあります。

### ●学習院大学海外短期語学研修奨学金

### ●学習院大学海外ボランティア活動奨励金

### ●大学院学生国外研究発表奨励

※詳細については、Newsletter Vol.31又は、国際交流センターホームページをご覧ください。  
(一部募集が終了したものもあります。)

## 海外協定校からの留学生の紹介

平成25 (2013) 年9月より、学習院大学での留学を開始した協定校からの留学生を紹介します。

協定校	氏名	学習院での所属	留学期間
大学間協定			
慶北大学校 (韓国)	金 秀玟	日本語日文学科	1年間
ニューサウスウェールズ大学 (オーストラリア)	SPINKS, DAMIAN CHRISTOPHER MARCUS (スピックス、ダミアン)	日本語日文学科	1年間
エディンバラ大学 (イギリス)	JAMES, NIKHITA SUSAN (ジェームス ニキータ スザン)	日本語日文学科	1年間
オックスフォード・ブルックス大学 (イギリス)	MALPUS, BENJAMIN DAVID (マルパス ベンジャミン デイビッド)	日本語日文学科	1年間
オックスフォード・ブルックス大学 (イギリス)	SEAFORTH-CRAIGWELL, BASIL (シーフォース・クレイグウェル バジル)	日本語日文学科	1年間
パリ第七大学 (フランス)	GANDON, PIERRE JEAN (ガンドン ピエール ジャン)	政治学科	1年間
パリ第七大学 (フランス)	BANABERA, AURELIEN JEAN-DANIEL JOCELYN (バナベラ オレリアン ジョセルダン エル ジョセルダン)	身体表象化学専攻	1年間
ポロニヤ大学 (イタリア)	DI DONATO, ALESSIA (ディドナート アレッシア)	日本語日文学専攻	半年間
ナポリ東洋大学 (イタリア)	CASABURI, ANTONIO (カサブリ アントニオ)	日本語日文学科	1年間



## 留学フェアのお知らせ

国際交流センターでは、海外留学や国際交流について、学生が気軽に質問したりお話ししたりできる場として、年に2回留学フェアを開催しています。第1回留学フェアは5月22日～27日に開催し、延べ150人の参加者がありました。

第2回は、10月下旬に予定しています。フェアの日程や内容の詳細については、掲示・G-Port・当センターホームページなどで公示する予定です。

### 第1回留学フェア参加者の声

「1番印象的だったのは、留学生のみなさんや留学体験のある学生さんたちと交流し、お話を聞くことができたことです。これまでも「留学生と交流したいな」と思っていたのですが、なかなか一歩を踏み出せませんでした。しかし今回の留学フェアをきっかけとして、これから積極的に留学生との国際交流や、自分自身の留学に向けて取り組んでいきたいと思っています。」

(法学部政治学科1年 阿部未沙子)



▲留学フェアで留学体験談に聞き入る阿部さん

# Newsletter vol.32

発行日/2013年10月1日

編集・発行/学習院大学国際交流センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025

http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/

(「学習院 CIE」などで検索してもヒットします)

※表紙の写真/馬 吳穎 (人文科学研究科日本語日文学専攻博士後期課程3年)

※今号掲載の学生の所属年次などは、平成25年度現在のものです。

### 編集後記

国際交流センターでは、外国人留学生を対象としたさまざまなイベントを行い、交流の場を設けています。国際交流に関心のある人は、お気軽にお立ち寄りください。また、留学生のためのイベントや生活面でのお手伝いをしてくれるボランティアも常時募集しています。ボランティアをしてみたいという人は、国際交流センターでボランティア登録をしてみませんか? (1年生の皆さんは2学期から登録が可能です)。  
【主なボランティア内容:バディ、留学生懇親会などのお手伝い、伝統芸能鑑賞会のお手伝い、短期ホストファミリー、パーティの準備、企画等、短期語学研修プログラムのお手伝い等】

### 平成25年度 国際交流センター運営委員

#### 所長

水野 謙 (法学部)

#### 運営委員

森田 朗 (法学部)

細野 薫 (経済学部)

金田 智子 (文学部)

馬淵 一誠 (理学部)

高橋 利宏 (副学長)

桂木 隆夫 (学生センター所長)

宮澤 文玄 (国際交流センター課長)